

あいつどんな顔するかな...

私が手作りチョコなんて...

よし...
出来たっ!

グツッ
グツッ

キン

キン

あいつより先に学校行かなきゃいけないのにつ!

わっ!もうこんな時間っ!

いってさーまーす

急がなきゃ...
あいつ朝練で早いんだよな...

おっ

近道しちゃおつと

気を付けっやー

チカント
注意!



射精るっ!!

ふんぎ...

ドボン♡

ふんぎ♡
ドボン♡

ふんぎ...
びび...

ふう...ふう...
子宮に染みこめえ...
ガキ卵子で吸収しろお...

始業の鐘か...こりや遅刻だな

キーンコン
キーンコン
はみ

まあゆなちゃんは
今日一日おじさんと
保健の授業だけだね♡



ゆなちゃんは受精って知ってる？
生理は来てるのかな？

聞いている余裕なんてないかw
ランドセルでも調べればわかるかな

まあどっちにしても膣内に出すのは
変わらないけど



いやあしかしこんな日にゆなちゃんみたいな子に
会えるなんて運命を感じちゃうなあ

このまま二人で愛の結晶作っちゃおうか♡



ゆなちゃんは受精って知ってる？
生理は来てるのかな？

へえ…最近の教科書はカラフルなんだな

おっ生理用品発見！
最近の子は成長が早いねえ

これじゃすぐにおっぱいも出る
ようになっちゃうかな♡

はあはあ…小○生の肌うめえ…

ゆなちゃんお風呂入ってないのかな？
ちよっとしよっぱいよ♡

ゆなちゃんほらこっち見て♡
ラブラブちゅちゅしよ♡

キスしなれど…

キスは裕太に…

ふんっ♡

ふんっ♡

ちゅっ♡





おおっ…精子上がったいた…!

一番濃いゆなちゃんの
奥に出してあげるね…!

射精るっ…!

妊娠しろっ!

どくん♡

んっろろろろろ

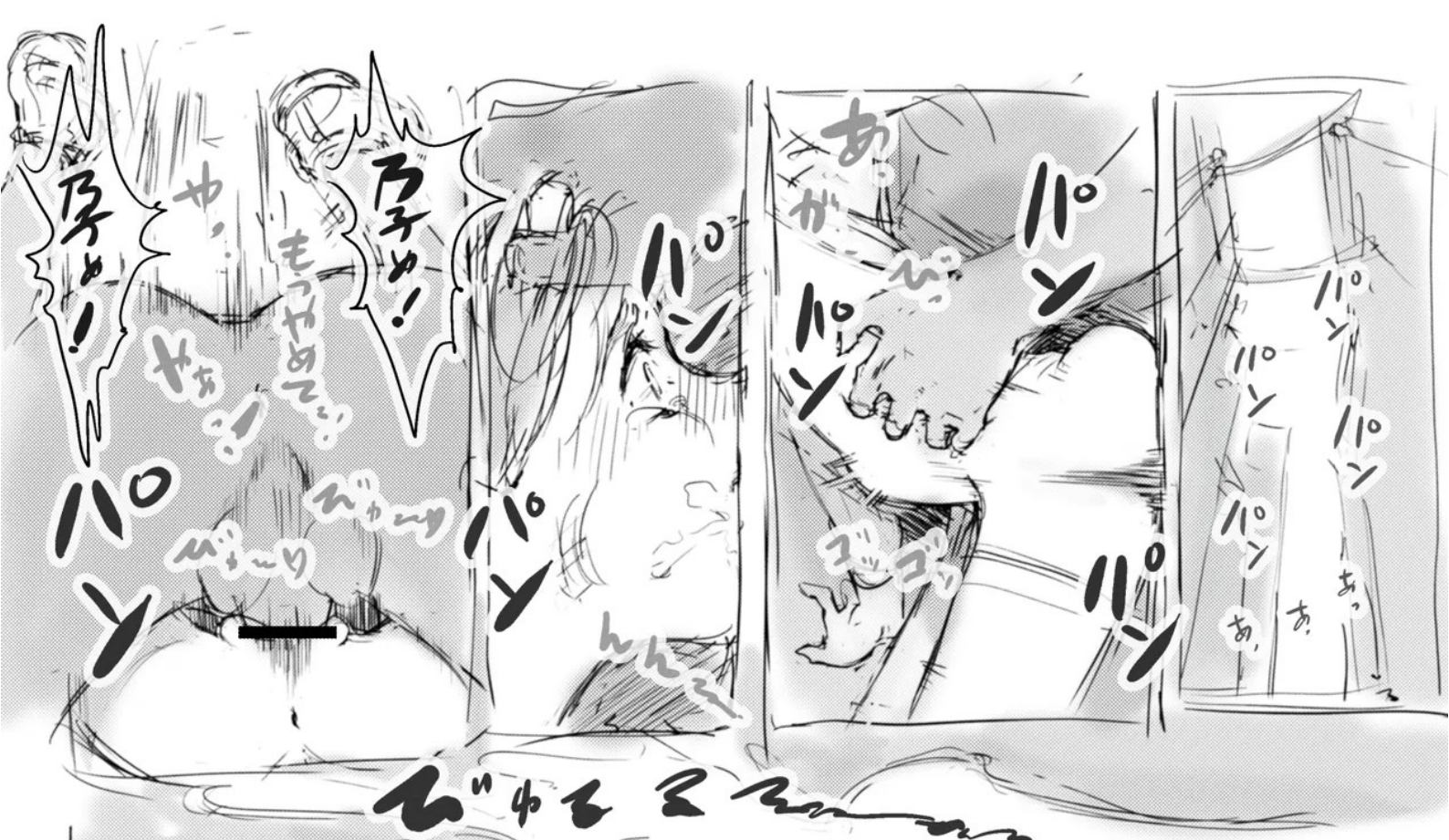
んっ♡

んっ♡

孕め…

孕め…

まだまだ終わらないよ…ゆなちゃん♡



あれから数か月、おじさんの約束が守られることはなかった
放課後、毎日のようにおじさんの家に連れ込まれ、饅えた匂いのする布団の上で
少女の胎内に中年の粘っこい精子が注がれ続ける日々が続いた。

少女は生理が来なくなっていたのを自覚していたが、恐怖と現実逃避のため、
妊娠検査薬等を使って確かめることが出来なかった。

やがて、徐々に下腹部が膨らみ始め、少女はおじさんに助けを求めたが
おじさんは「大丈夫、大丈夫」と繰り返すばかりで、特に何かをしている
気配を感じられなかった。

太ってしまったでは誤魔化しが効かなくなってきた腹部をさすりながら
「大丈夫だ安心しろ」といういつもの空虚な言葉を吐き、
今日もおじさんは少女を押し倒した。

最初はあるなりに辛かったおじさんの行為を、すんなり
受け入れられてしまっている身体に悲しくなった。

「私どうなっちゃうのかな…」
少女の呟きは、激しく肉を打ち付ける音と
射精が近づき嬌声をあげるおじさんの声に
かき消されて誰の耳にも届かなかった…

